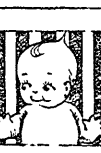
夕刊
磐城新聞
六月十八日發行

渡鹿野島

梅田章

（二）



部屋で一服すると私は島を一廻り見て來ると言づけて、すがしい海を見に裏山の方へ登つて行つた。どの家もどの家も靜かでそれ〳〵桃の花や椿の花を咲かせ、夏みかんをならせてゐる。椎の大木が島の頂に森をなしてゐて新芽が美しい裏山へ行く道には石疊が敷いてあつてその一つ一つが皆洗はれた樣に美しかつた人の家へ入つてしまふだけうかと思つて行くさうで無かつたり、山への道のつもりで歩いてゆくと人家に入つてしまつたりした。島は早くから春が來てその期間はほゞ長い。畑を打つ女は遊客達のふるまひに馴れてゐるのであらう。私が歩いて行つても腰をのばさうともしないで働いてゐる。推の森を過ぎると、道の両側に一町も二町も或は三町も島の墓が續き 西日を背にしてその石が並んでゐる ビール壜やかん徳利の水さしが立てゝあるのは 故人達がそれを好んだのであらうか。出て行く船の音が明るく墓石に反響する。

私は島の頂を西から北へ廻り東側に來てその太洋への出口をのぞんだ。こゝからは燈台が見えなかつたが白くくだける高い波頭は手にとる樣に見えた。林泉に椿の花が散つてゐて、小さな祠をかこむ海岸のぞんだ公園めく地域には賽札が白く眠れてゐた。こんな景色をみて廻つてゐるうちに私はいつか、けふの無賴漢の樣な男の顔や姿やあかじみた服を忘れて、島のみがもつのであらうカラーと陸から海をへだてゝゐるといふ感傷心理に心ゆく迄遊ぶことが出來た。

その日の夕方から凪いでゐた海に雨が降り出した。この島へ着いた時に泊つてゐた船も繫がれたまゝ波に揺れてゐる。小雨の中の町をひとめぐりして來て別に絃歌も嬌聲もきこえない暗い波の音ばかりの島をたしかめると氣の抜けた樣なさびしさもあつたが、一面すが〳〵しい氣持で床につく事が出來た。

幾度か天井の鼠に目を覺され夢のやうに外の音を感じたが、次の朝目の覺めてから待つても待つても明るくならない空に一人言をつぶやきながら起きたのが九時頃だつた。島の雨は家をめぐつて横なぐりに降るらしい。戸を細めにあけて透かすと、どの家もどの家も雨戸をぴつたりとたてゝその壁土は杉皮ですつかり掩つてゐる。島には六軒あるといふお女郎屋が、どの屋根とどの屋根かわからない。けれども、若い水夫か顔だけ出して空模様をみてゐる酸桃のお影の二階はそれらしいともかつた。顔をあらつて來ると、この時か何時まで續くのか心配になり出した。今夜迄に伊勢の山田驛で友達と待合はすことになつてゐる。どんなことがあつてもそれ迄には歸らねばならぬ。

6月19日

△始めて年號を定む（大化元）△小見保險法を設く（昭和六）△支那事變第十一回論功行賞發表（同一四）

けふの言葉

○

簡素な生活で高潔な思想　テニスン

講談　夜嵐お絹〔97〕

悟道軒圓玉
筒井直衛畫

俄坊主

豊之助は自分の屋敷に戻り、先づホッと一と息、吐き、

『孫、斯う云ふ時に兩親が居ねえから安心だナ、親があれば心配をする、親なぞあつては良い時もあれば無くつて良い時もある』

『左樣でございます、所で殿樣これから何うなさいます』

『其事については俺も考へたが一時濱川の吉右衛門の許へ忍ぶ事にした、きさまも知つての通り吉右衛門は名主でありながら博徒で大分子分もある、それに氣性も男らしい、依つて吉右衛門の許に巣を作る事にする』

『それが宜しうございませう、然し殿樣、官軍が市中を警戒して居ますから、それを扱いるのは一と工夫なさらずば濱川にお出でになる事は出來ますまい』

『それは俺も知つてゐる、夜が明けたならば坊主の衣裳を買つて來てくれ、俺は姿を出家に變へて官軍の眼を晦まして濱川に落ちる事にする』

『そいては坊さんになりますか』

『そいが宜からうと思ふ これだけあれば衣裳や小道具も買へるであらう、』

と五兩出して

『宜しく頼む、時に酒はあるか、あれば一銚子持つて來い』

玆で久し振で孫助と門番の大藏を相手に盃を擧げ戰亭の狀態を語り九ツ過（十二時）に枕に就きグッスリ一寢入したが夏の夜の短く何時か東が白んだ孫助は夜明を待つて出て行つたが僧侶の衣服と持物まで整へて歸つて來た豊之助正午すぎに伏戸を出て手水を使ひ、これから食事をして、

『孫助、剃刀を出せ』

『何ンになさいます』

『坊主になるンだ』

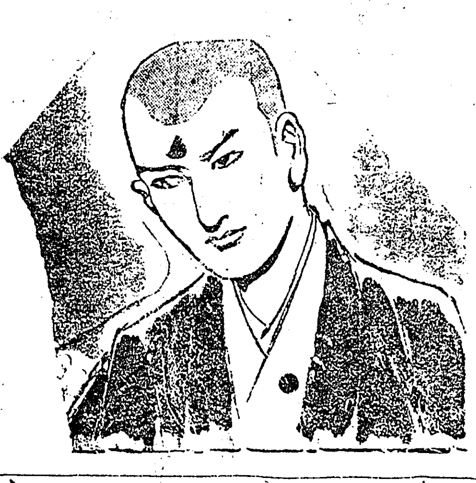
『私が剃りませう』

と孫助は豊之助の髮の毛を剃り落して、お顔を御覧なさいと出した鏡、それに寫してシゲ〳〵と見た豊之助、

『俺の面は坊主らしいナ』

『ヘエ、有難さうな和尚さんに成りました、時に殿樣お經を御存じでございますか』

『普門品と般若經を知つてゐる、これだけ心得て居ればゴマかす事も出來るであらう、所で孫當分きさま達に會ふ事はあるまい、主從は三世の緣とやら、此娑婆は今月限りとて先きの世で會ふであらう、追々世の中が變つてくるからきさま達も其の變り行く世の波に乘つて さうして榮せ、これは當座の小使ひだ』



と孫助と大藏に三十兩供へた、二人は涙を流して、

『永い間御厄介になりました、それでは殿樣、これがお別れでございますか』

『まづ別れであらうナ』

と豊之助は鼠木綿の單衣に麻の法衣、甲掛けに草鞋穿き鉦を提げ深笠を冠り、柳行李の辨當稲と牛紙、それを包みにして腰へ巻きつけ

『何うだ孫、西行法師に見るかナ』

『有難うございます』

『短刀かあつたナ、それを持つて來てくれ』

と短刀一口呑んで屋敷を出る送り出した孫助に大藏、

『御無事でお出かけなさいまし』

『達者で暮せ』

と云ひ捨てゝ玆を後にしたが十六日の陽の暮れなんとする頃、濱川の俠客吉右衛門の許を指して行く隅田川を右に見て、多田藥師の前から番場まで來たが、玆は水戸家の普請に用ひる石材が置いてある、之を石置場と云つた、官軍の見廻りが十四五人來たが、豊之助を見ても眞實の僧と思つたか咎めもせずに行き過ぎる、豊之助は其所を過ぎ行く官軍の後姿を見送り

『先づ安心、あいつ等が見廻すやうでは濱川まで無事に落着く事も出來るであらう』

と鉦をたゝきながら牛町ばかり行き過ぎると、一軒の家の木戸を開いてそれへ出て來たは六十余りになる男、

『御出家さん、此方へお入り下さいまし』

と呼ばれて、

『ハイ〳〵何んぞ御用でございますか』

習作集

六月の太陽（其の二）　石井陽光

○竹の秋にこの夕陽は貧相な
○れんげ草一つ〳〵は氣品あり
○知らぬ町其處にも呼びかけたい生活の横顔

酒井青風

○雷雨電光蒼くゆがめる顔バスの窓に
○薬のび著るき無花果に來て燕ろきぬ
○砂霧に八手若葉の光やはき
○崖そくを風の…わ水　岩つばめ

能率が上る
ムツソリーニ ペン
さびない、書きよい、もちがよい、三拍子揃ひの良の吾がムッソリーニを親愛なる事務家諸兄の机下に贈る
平市攝槌小路
代理店　魁文堂
電話313番

おでん
たつた揚
やきとり
一平
電話二六三番

男女車掌募集　數名
年齡16……19
未經驗者ニテモ可
給料其他委細面談
平市驛前
野崎交通自動車株式合社
電三四〇・三四三

簡易金融
小口も歡迎いたします
茨城相互株式會社平出張所（金融業）
綠川喜三郎
假事務所　平市才槌小路二四

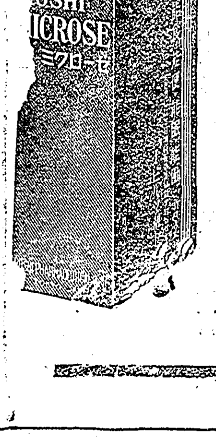
燈火管制用電氣カバー
此レダ〳〵
規定通り試驗濟の
模範燈火管制ニハ是非御利用ヲ
六〇ワツト以下ノ電球ニハ調節自由ニ減光出來マス
空襲管制ノ場合ニモ調節ニテ消燈同樣ニナリマス
長時間遮光スルモ器具ニハ燃燒ノ恐レアリマセン
防空用器具、投砂袋
折疊式竹網、管制カバー
平市南町三〇番地
製造元　福屋漆器店
工場南町四六番地
電話「呼」七三二番
振替口座東京八二、九九九番

初夏は丹後澤へ
年々御贔屓に預り難有御禮申上升、本年は非常時下体位向上の爲格別の勉强を以て御待して居りマスから是非一日の御清遊を
丹後澤舟遊會
生花商　花友
平市　電話六九五番

時局ノ生ンダ新案特許
日ノ丸習字板（第二八〇五七八號）
使用法半紙節約ノ目的ニテ墨ヲ書キテ濡雜巾ニテ拭ツテ戴ケバ何回ニテモ使用出來マス
實用新案
メモ板　第二七七九〇四號
野球用ボール第一七九七三號
興亞ノート　第二四七九八號
專賣特許
興亞厚紙（第(イ)一七三六〇號・第(ロ)一七三六號）
平市月見町十三
合資會社　興亞特許商事
月見町三十三　同　工場

一、タバコをヤメルのによくきく藥
▼確實に禁煙に成功の出來る
禁煙含嗽藥「ニコチロン」一瓶一圓
漢方胃腸藥の
を是非御試用を御勸め致します
專賣所　山野邊藥局

腸内・殘敵を掃蕩せよ！



便通のない日があつてはならぬ！

我々が口から食べた食物も、一日、腸内に滓として停滯すると、忽ち恐るべき毒素を發生して樣々な害毒をひき起します。曰く、頭痛、無氣力、ノイローゼ、目眩、[illegible]、ヒステリー、高血壓、不眠、吹出物、[illegible]べて腸内殘敵の仕業であります。何分にも、我々の身長の四倍強の長さを持つた腸内のことでありますから、その中に毒素が充滿し、血液中に浸入して行く有樣を想像して見れば、排泄の大切さ、便秘の怖しさ[illegible]しない人はないでありませう。食物が、人間の消化器官を通過して排泄される迄には、大體二十時間乃至三十時間を要するのであります。故に、健康人は日に一回、規則正しい便通がなければならない譯であります。

便通がないからと言つて

直ぐに下劑を服む人がありますが、大間違ひであります。下劑は、腸の活動力を弱め、恐るべき習慣性を作ります。

酵母劑の上を行く我がミクローゼは、單なる便秘專門藥ではありませんが、强力な各種消化酵素とヴイタミンBの力によつて、腸の勞力を省き、蠕動力を强め、消化吸收を助け、快い便通を齎す一大特徴を有して居ります。

ミクローゼは、前京都帝大醫學部助教授豊島豐次郎先生が十八年に亙る御研究の結果、酵母にまさる唯一のものと斷定された日本固有のビルツ（有効菌）に據る胃腸强生劑であります。

胃腸强生　ミクローゼ　（[illegible]）一圓[illegible]

東京・五反田　[illegible]製藥株式會社

驚異的戰果を見て 其頃の伯林を想ふ

辯護士 松野尾繁雄氏談

ハイケンクロイツの旗影燦たる處、全歐制覇の豪華線上に颯爽と躍るナチドイツの端げいすべからざる姿こそは眞に世紀の驚異である。先年のオリンピック大會に親しくその土地を踏んだ市内法曹界の新知識松野尾繁雄辯護士はこの際全くの篏り役として『伯林のありし日』を語る

□

昨春三月伯林で封切りの際ヒットラーをはしめグッペルス其他の大どこが、ずらりと並んで觀覽した映畫『民族の祭典』は大會當時クランクしたものを滿二年もかかつて完成し昨今漸く東京へも來た樣であるが斯うした方面を而も國家の事業として藝術化する樣な處にも彼の國ならではの氣魄が窺はれる。

大會の開會式當日大會場の大きなスタヂアムで猶太人のコンダクターによつて四千人程の大合唱が行はれた時、上方から放射する近代的の目もあやな照明を浴びて舞踏の一大豪華繪卷を展開したなども自國の藝術精粹を世界に誇負する一手段かとも取れば取られた。

長い文化の遺産として當然に結實したものであらうが此種の事に深い關心を拂ひスポーツと美術などにも一脈の關聯を附ける處に彼の民族の特異性が見られる。

□

ウンターデンリンデンに在る無名戰士の墓に毎日午後交代に兵隊が揃つて參拜する敬虔な姿は自分らの伯林滯在中に於ける感激の一つである。また當時我が選手があの程度に押へた水泳に就て、國民皆泳の題句を掲げ各町村にプールの新設を布告したなども彼の國民性にピッタリ來て居る施設であらねばならない。

大會の二年前から失業救濟を加味し七年計劃で起工された伯林から各方面へ放射する自動車專用道路は、クロス點は必ず一方を地下道その他の方法によつて交叉の煩瑣と危險を避ける即ち全然ゴー、ストップぬきの極めて優秀もので今次の戰爭に於てあの敏速な機動が行はれたのは之なども與つて大なる力をなしたではないかと思はれる

□

最近永田さんの話として有馬頼寧伯の引例した言葉に獨逸がオリンピック當時設けた選手の宿舍は一朝有事の際直に兵營に用ひられる樣計劃したものである！と云ふことは自分らも當時選手諸君から聞いてゐた處で當時に於けるヒ總統の意圖を忖度するに充分なるものがあると同時に今日に於ける獨逸の偉大な戰果から觀て何人もこの國に於ける智育の完全を否定することが出來ぬ。

斯の如き知育体育兩全とも云ふべき獨逸民族の優秀性が今日の革期的一大建設を結果したのであらう。

國家的見地からスポーツを見而して之を奬勵した事が國防用兵に今日どう反映したか！智育の方面と併せて之を考へ度い。

奉耕田御田植ゑ

神饌田奉耕の光榮に浴した夏井村菅波箱崎義範氏方では愈よ明十八日午前十時から嚴かに奉耕田の御田植ゑを行ふ

神技新緑に躍る

天覽武道の阿部選手 劈頭千葉、大分と對戰

戰時下に於ける我國武道の豪華繪卷、宮内省主催の皇紀二千六百年奉祝武道大會は愈よ今十八日雨後の新緑爽々しい宮城濟寧館に於て柔道、弓道の豫選を序奏としてその幕を切つて降されたが、百六十萬縣民の大きな期待を集め颯爽として晴れの大會に參加の榮譽に輝く本縣代表選手

（劍道）村越淳氏は第八部に屬して諸貫埼玉、渡邊茨城と

（柔道）阿部文平氏＝神谷村出身＝は第五部に屬して市原千葉、本間大分と何れも府縣選手第一回戰に息詰る接戰を見する筈、龍虎相搏の戰績が刮目される

大阪府巡査採用試驗

大阪府巡査及び少年警察官採用試驗は二十五日平署會議室で行はれるが資格練習期間など左の如く試驗科目は國語、作文算術で受驗者は自筆志願書履歴書、手札形寫眞を提出されたいと

△巡査 年齢滿二十年以上三十五年未滿、身長五尺一寸以上体重十三貫以上、教養期間四ヶ月、初任月收六十圓内外

△少年警察官（警務書記生）年齢滿十六才以上二十才未滿、身長約五尺以上体重十一貫五百匁以上教養期間一ヶ月半、初任月收三十二圓

東北鑛山の實相

仙台中央放送局の 鑛業報國座談會要領（五）

○尾去澤鑛山勞務主任吉田君

私共では昨年二月協和會に銃後事業部を新設致しまして一般銃後後援事業並に生活刷新運動を擔當し新入學兒童の學用品の節約を申合せ又山内各部落別に虚禮に渉る贈答の廢止を申合せる等消費節約に力を注いで居ります又作業用品の整理とか廢品の蒐集等所謂資源にも大いに努力して居る次第であります。

○司會 鑛山の産業報國會では今までお話し願つたやうな各種の事項について時々懇談會を催されて居ると思ひますが、その模樣について釜石鑛山山口君に御説明を願ます。

○釜石鑛山勞務主任山口君

鑛山では時々懇談會を催し意志の疏通を計り健全なる事業の發展を期して居るのであります。

釜石鑛山眞道會の懇談會の特徴とも思はるゝ點を簡單にお話し致しますと、會議を分けて二つと致します一つは勞務者の選擧に依つて選ばれた代議員、つまり勞務者の代表者計りが集まりまして隔意なき意見を述ぶる代議員會であります。今一つは評議員と云ひまして、職員の評議員半數と代議員中より選んだ勞務者評議員とが集りまして代議員會の意見を基礎として懇談熟議を重ね合意に依つて處理する會であります。

會議に當りましては固苦しい空氣をさけ、決して決議型を採らず能く相談し合つて圓滿にその目的の達成に努めつゝ相當良き結果を見て今日に到つて居るのであります。

○司會 横山さん入山の方では如何ですか。

○入山炭鑛勞務者横山君

私の方では懇談會は住宅區域毎に一棟に一人乃至二人の代表者が出て毎月一回人事係の區長さんを中心に開いて居ります。懇談事項は作業上のことや日常生活のことなど萬端に渉つて居りますがその形式はどこまでも懇談でありまして所謂談笑の裡に話を進めて行くわけです。

尚毎月の懇談會の他に年に一回乃至二回位全部の懇談會員が一ヶ所に集つて人事係長を座長に聯合懇談會を開いて居ります。此の場合には採炭現場とか糧食部とか病院の院長さんなど迄が列席されて各々の立場から事情を聽いたり説明されたりして文字通り全山代表の懇談會をやつて居ります

○司會 色々お伺ひ致しまして有難うございました。これを以て閉會と致します

今度は何時降るやら 再たしても天を仰ぐ

農家の水滿腹未だし

大事な田植ゑに直面する農家を雀躍りさせた一昨夜來の雨は、今十八日頃には一旦あがらう！と發表した小名濱測候所昨十七日の豫報が不幸にも的中して今朝來の好天氣、當面の急場を凌ぎ得たとは云ひ條モーと息降つて欲しかつた農家として未だ水の滿腹には程遠いものがある。神谷農試分場の觀測に係る昨十七日午前十時以降の坪當り降雨量は三〇・二ミリ（五斗五升二合六六）で第一日目の既報一二、五ミリ（二斗二升八合七五）と併せ合計四二・七ミリ（七斗八升一四一）大量だつたので欲を云へば限りは無いが、差當り挿秧前の愁眉を開かせたのは掩ふべからざる事實である。さて今度は何時降る事やら。地方農家は依然天を仰いて往く雲のたゞすまひを眺めてゐる

砂糖は廿二日から

切符制初の配給

切符制實施の運びとなつた市内に於ける砂糖の配給については目下市役所發行の切符を各區長の手を經て配付中で愈よこの二十二日から一齊に今月分（一人三十匁位）の配給を開始するが各家庭ではつとめて從來の取引先から購入されるやう望まれてゐる

警防團後援會へ

各方面の共鳴熾烈

應募既に一萬六千圓

市警防團後援會の寄附は會長大谷武雄市議により引續き鋭意活動中であるが其後の分次の如く依然たる好成績で今後尚は各方面の應募が期待されてゐる

（金五百圓宛）西村屋藥局 中野庄吉、根本善吉、山野邊陽（金三百圓宛）平製氷、關内正一、瀧口豊色川光以、谷口ふく（金二百圓宛）柴田德二、川又章二、志賀盛榮、長谷川浩太郎（金百五十圓）

ソラ豆出廻る

植田方部が初出荷 昨年より約二割高

植田町及び山田村産出のソラ豆は十六日郡農會の斡旋で十五トン一車を中央市場へ初出荷し、昨十七日行はれた取引値（七貫匁入）左の如く昨年に比し二割の高値であつた

	高	安
神田	六圓	四、二
築地	五、五	四
豊島	四、三	三、六

スピーデー

既報の分と併せ既に合計一萬六千圓に上つた

寄附相次ぐ

市警防團後援會への寄附金その後の分次の如く依然たる好調に益々馬力を掛けてゐる

金四百圓會津屋小原喜八

金二百圓宛織田材木店、平病院、高柳病院、金百圓宛越の家、吉村安治郎

寄附

市内新川町國井一美さんは金五圓を市銃後奉公會へ寄附した

作業中墜落死 好間村古河炭礦機械係鍛冶田登（三七）は十七日午前十時半頃復活竪坑内で古ケーブル線の取りかへ作業中誤つて七百尺高所から轉落十八日朝八時遂に死亡した

朝三時から夜七時

部落民こゝろ一つで 渡邊村の共同炊事

勞力不足はこの手で克服しやう……と地方に先鞭をつけ縣指導の下に目下實行中の渡邊村泉田、中釜戸兩部落に於ける共同炊事は平保健所作製に係る安價と滋時本位の献立表に基きこれに當る毎日一戸一人宛三人の外はすべて共同田植ゑに從事する事になつてゐるが炊事場は託兒所をも兼ね、これには小學校の先生が時折出張、附近に子供らを集めてなにくれとなく面倒を見てゐる、早朝三時起床、七時夜食の規律も正しい部落總力を擧げての美しい情景に郡農會青山技師も少なからず感激してゐる

贈熊谷君

瑞雲 小野務平

梅妻婦土夢難平
未至期年喪乳鶯
涙尚濡時重哭動
思君半夜不堪情

平市慶弔錄

△出生 下平窪字四左工門内一一五坂本三雄氏長男勳君

○婚姻 材木町一三酒井稱平氏（三二）と新潟縣新潟市東堀通三番町四七八佐藤麗子さん（三四）正月町一〇津野善兵衛氏（四九）と宮城縣柴田郡大河原町大河原字町一四二工藤とみよさん（三八）

拈華微笑

淫霖連日なんて形容詞は今の處豫備役編入と云つた形

□

全く之では扇影婆娑の眞夏光景。奇拔な梅雨季もあつたものだ

□

本紙の記事に繚乱として咲いてる『ぼたん』の噂

□

コーラスがやり足りなかつたと不滿さうに腹を膨らませてる蛙たち

□

新緑に躍る神技阿部選手の活躍を祈る郷黨の人情

十九日

【小名濱測候所觀測】

滿潮前五、〇〇 後二、三五 干潮前一〇、〇五 後九、五五

日	十四日	十五日	十六日	十七日
水曜	癸巳	赤口	閉	軫宿
新六月	十九日			

▲一白 新規事業を企つるに尤も吉し一路直進せよ▲二黑 人の信用を得て立身出世すべし物始めも吉▲三碧 進路を誤まり易き日自重警戒してあせる勿れ▲四綠 小利に目移りして大利を逸し易し注意肝要▲五黄 商事は注意すべきも他の事は凡て進みて吉▲六白 約束ごと金談ごとは憂ひを後に殘す恐あり▲七赤 心を變へ業を移すは面白からず舊を守るべし▲八白 失敗は多くとも萬事迅速に解決し行くべし▲九紫 心落付かず爲すこと多くは失敗に陷り易し

「ぼたん」の純情（三）

ユー・ワイ生

その中十一時近くなつてめてやつた所が「ぼたん」は家に歸るのだといふから自動車を呼んで一緒に乘せてやつた。神田驛で省線に乘り換へるために彼女は降りて行つた。

その後間もなくNさんに遭つたのでその不都合を責めてやつた所が『イヤ實はその事だ』と前置きして言ふ事はこうだ全く偶然あの家に行つたのだ、そして醉つたまぎれの串談に滿洲の僞失敗談をやつたのだところが彼女があまりにも其面白に聞いて呉れるので面白くなつて輪に輪をかけて出駄羅目を並べたのだ、その結果は彼女が財布の底をたゝく事になつたのだ、さうなると引つ込みかつかなくなり又金まで出して呉れた彼女の純情に打たれて今更串談でしたとも言えなくなつたので心ならずも彼女の誠心を受けて歸つたのだ甚だ濟まないと思つてゐる、今度東京に行つたら御わびをして何倍かにして返して來るといふのだ、それて話が解つた。

翻者から女中に搏落した女と言へば大がい相場がきまつてゐるが彼女だけは例外だ、この愚に近いとまで思はれる純情さは全く貴い存在だ、泥中の蓮といふ言葉は彼女にそつくり當てはまる樣な氣がする。然かしこういふ話にはねて裏の裏があるものだ彼女が自分に話して經歷談がNさんの僞失敗談の樣に裏があるのかも知れぬ、それならそれでもいゝ彼女がNさんの僞失敗談を眞に受けた樣に自分も彼女の話を眞に受けて置かう。

さもあらばあれ彼女の將來に榮光あれと祈つて筆を擱く

（丁り）

暑熱の御めしものには
石川亭のすき燒を
夏季中特に香水風呂の設備あり
平市田町 石川亭 電話四三番

御婚禮、御會食、御宴會
尚は季節料理
平市田町 電話一七一番
さかき家 料理部
女中さん數名至急入用（優遇致します）

音ガ生命
ビクターラヂオ
5R15 ¥125
テレビアン
ナシヨナル
ビクター
代理店 富永ラヂオ店
〔電四九六〕

江戸前
壽しと小料理
平驛前通り
出前迅速（立食）すし茂
電（呼）五七〇番

内臓外科
整形外科
レントゲン科
松村外科
醫學博士 松村亨
平市南町 松村醫院外科部

醫學士 吉田久雄
吉田眼科醫院
平市紺屋町 電話六八番